



地域なんでも情報局

第22号

平成28年3月17日発行

長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号

TEL: 828-1281



災害に強いまちづくりへの取り組みがらう

地域のネットワークづくり

となつてまちづくりを推進する足掛かりの一つとなるのではないかと思います。

平成28年2月21日(日)、気持ちのいい晴天の中、西北・岩屋ふれあいセンターには西北地区の皆さんが集まり、西北地区防災講習会が、西北地区防災協議会の設立記念事業として開催されました。西北地区では「災害に強いまちづくり」という視点が、地域が一つになるような取り組みが始められています。



防災講習会

「災害に強いまちづくり」を目指すことでした。

西北地区では、自治連合会、岩屋地域包括支援センター、長崎市、長崎社協と協力して、平成25年6月から西北校区ネットワーク会議(地域ケア会議)をスタートしました。平成27年2月には「防災マップ」を作成し、今年度は「防災に関する講話や、顔の見える関係づくりを目的に、地域で活動している団体の活動紹介を行いました。」

ネットワーク会議 地域ケア会議

地域で発生している高齢者の見守り体制や、認知症の方に対する支援、災害時の支援等の課題を解決するため、地域内のネットワークを構築し、高齢になっても地域で安心して生活できる地域づくりを目指すための会議。

西北地区防災協議会設立

そして、西北校区自治連合会及び同地区の各種団体が連携し、災害に強い、安全安心で自立したまちをつくることを目的として、平成27年12月、長崎市の協力のもと「西北地区防災協議会」を設立しました。西北地区は、土砂災害警戒区域が多く、防災の取り組みは地域の長年の「気になること」でもありました。この協議会の設立により、各自治会の負担軽減や、地域の各団体同士の協力体制の向上が見込まれ、地域の皆さんが一体

防災協議会

災害による被害の軽減を図るため、小学校区のエリアにおいて、各自治会、消防団、老人会など、多くの地区内の各種団体が連携し、効率的な防災啓発や防災活動を行う組織。



座談会

「取り組みの始まり」
きっかけは、平成22年度に長崎社協西北支部の協力で開催した「やってみよう」で、わがまち座談会「で、地域の皆さんから出た西北地区の気になる課題を基に、平成25年度には『やってみよう』がまちプラン」と題して、地域の課題について再度話し合い、西北地区の福祉のまちづくりに向けたプランを策定しました。その結果、高齢者への見守りや、地域の団体同士が話し合える地域づくりの目標の一つとして挙げ

やってみよう！わがまちプラン

1. 高齢者への見守り活動を推進します。

●西北地区において、高齢者や高齢者の家族の生活に支障をきたすような課題を把握し、見守り活動の推進を図ります。

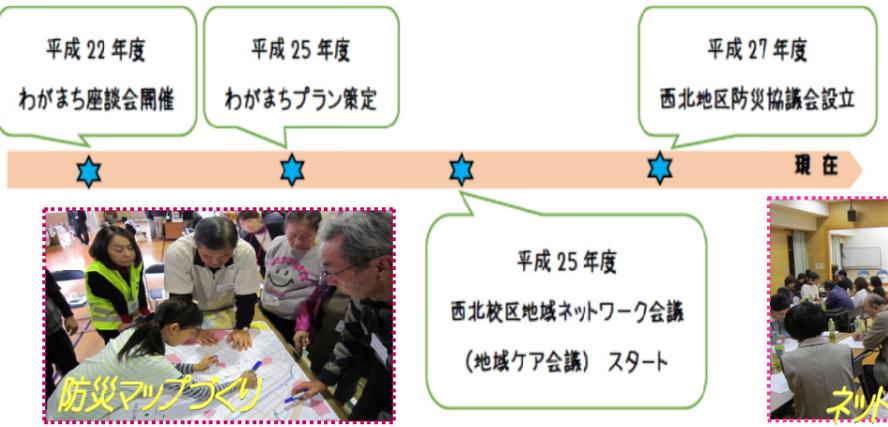
2. 災害に強いまちを目指します。

●防災マップの作成や、防災訓練の実施など、災害に強いまちづくりを進めます。

3. 地域の様々な団体が、話し合ったり情報交換ができる地域を目指します。

●地域には様々な団体が、様々な活動を行っています。これらを活用し、地域の課題を共有し、協力体制の構築を図ります。

西北地区 今までの取り組みの流れ



防災マップづくり



ネットワーク会議

「災害に強いまちづくり」という視点から、西北地区では地域の各団体同士が協力体制を作り、地域が一つになって動き出そうとしています。長崎社協西北支部田上支部長(西北地区防災協議会会長)からは、「今までの取り組みの一つ一つが土台となつて少しずつ機運も高まっている。これからさらに色々な団体に参加してもらって、子どもから高齢者まで住民が集えるようなイベントの開催や、また、一過性のことだけでなく、何か起こったときのために、普段から顔の見えるご近所同士の付き合いにもつなげていきたい。」と、西北地区への思いを聞くことが出来ました。



鬼火大会の様子です！

植木の里として知られている古賀地区ですが、今回ご紹介する久保田さんは、その古賀地区で植木職人として日々お仕事にお忙しい中、古賀小学校育友会会長をはじめ、さまざまな地域活動をされています。育友会会長になつて四年目となる久保田さんですが、会長になつた当時、育友会が青少年育成協議会と一緒に、毎年古賀小学校で「スポーツ大会」を行っていました。これは、小学生とその保護者が参加して親睦を図るものだったそうですが、久保田さんはこのイベントを地域全体の親睦を図るものにはできないかと考えました。そこで、久保田さんは地元の松原町で、毎年年末に公民館で子どもたちと一緒に

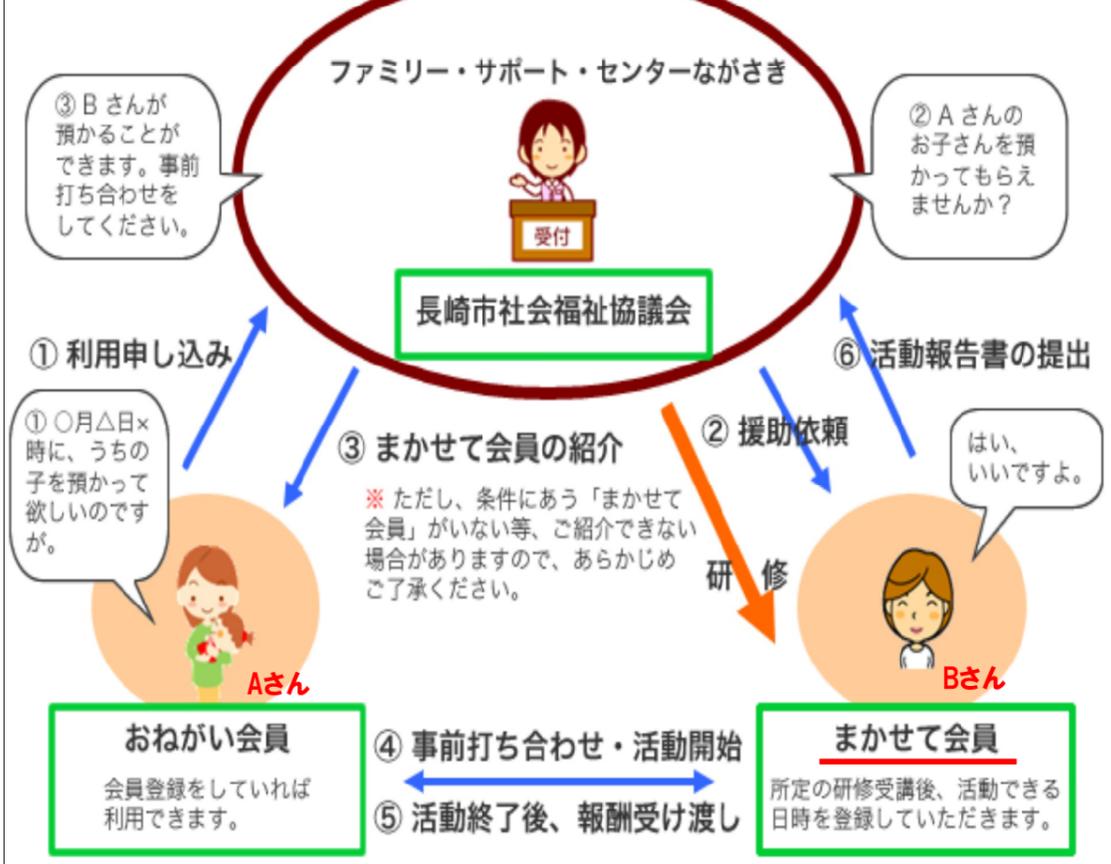


あの人も！そんな人も！こんな人も！
くぼた あきひろ
久保田彰さん
古賀地区

に、正月飾りのミニ門松を作っていました。ミニ門松は作る際に、材料の孟宗竹が大量に余つてしまふ、これまでは処分しなければなりません。そこで、この処分していた孟宗竹を使って「鬼火焚き」を大々的に地域で行つてはどうかと、昨年一月に開催しました。参加者は、子どもたちはもちろんのこと、古賀地区に住んでいる人たちに広く呼びかけて、名称も「鬼火大会」として、地区を挙げてのイベントとなりました。「鬼火焚き」といえば、その年の無病息災を祈願して、お餅を焼いて食べるのが慣わしですが、この「鬼火大会」では、それぞれが材料を持ち寄つて焼いて食べていいという事で、マッシュマロを焼いて食べている子どももいました。当日は、約400名の参加者があり、「鬼火大会」は大盛況のうちにお開きとなりました。久保田さんは、このイベントが古賀地区に住んでいる人たちの交流の場になればと考えておられるそうです。そして更に久保田さんは、古賀地区に交流する場が多くなれば地域の絆も強くなる！という強い思いのもと、古賀地区をより良いまちにするために、今後も地区のイベントを盛り上げていきたいとおっしゃっていました。余談ですが、久保田さんは古賀地区の植木の歴史を巡る「さるくガイド」としても活躍されており、植木職人として培った草木の知識を生かして仲間と共に活動をされています。古賀地区の歴史ある植木の話は一聞の価値がありますよ。



ファミサポの仕組み



まかせて会員を募集しています！

長崎市社協では、長崎市の子育て支援事業の一つである「ファミリー・サポート・センターながさき」(以下、「ファミサポ」という。)の運営を行っています。ファミサポは、子育ての援助を受けたい人(おねがい会員)と援助をしたい人(まかせて会員)が会員となつて、一時的な子育ての助け合いを地域の中で行う地域住民参加型の組織です。近年、市外から本市に転入して来られた方々の登録が増加傾向にある一方で、まかせて会員の登録者が少ない地域(※注1)もあり、おねがい会員の要望に答えられない状況も生まれつつあります。センターでは、年3回まかせて会員養成講座を実施していますので、子どもが好きな地域(※注1)も、一時的な子育ての助け合いを地域の中で行う地域住民参加型の組織です。近年、市外から本市に転入して来られた方々の登録が増加傾向にある一方で、まかせて会員の登録者が少ない地域(※注1)もあり、おねがい会員の要望に答えられない状況も生まれつつあります。センターでは、年3回まかせて会員養成講座を実施していますので、子どもが好きな

子育て支援活動に興味をお持ちの方がおられましたら、是非受講をご検討下さいませ。ようお願いいたします。また、ファミサポの詳しい内容についてのお問合せも随時お待ちしておりますので、お気軽にお問合せ下さい。(※注1)本原町、平野町、平和町、茂里町、目覚町、深堀町、住吉町、西町、白鳥町、清水町、江里町、三芳町【問合せ先】(長崎市社会福祉協議会内)ファミリーサポートセンターながさき
電話095-829-6244
(受付時間)月～金曜 午前9時～午後5時)



第一回策定委員会 平成28年1月19日(火)

小地域計画策定委員会(浪の平)

浪の平地区では、現在、地域の自治会、民生委員をはじめとした、地域で活動する様々な団体が集まり、自分たちのまちを住みよいまちにするための「やってみようか・わがまちプラン」(以下、「小地域計画」という。)策定に向けた会議が行われています。

一昨年の11月1日と22日の二回にわたり開催された住民座談会では、延べ88名と多くの地域住民、関係団体の方々にお集まりいただき、地域の良いところや気になるところを出し合い、さらに気になるところ(地域の課題)の解決策まで考えました。その後、浪の平地区では、昨年4月に浪の平地区まちづくり協議会が発足するなど、自分たちの地域を自分たちで良くするため話合いが定期的に行われています。その中で、小地域計画を浪の平地区の福祉と安全・安心・防災機能の向上を目指すソフト面に特化した計画と位置づけ、策定を進めています。

第一回目の策定委員会では、一人暮らし高齢者の見守りや災害時の支援体制づくりなどの話題が中心でしたが、集団下校のルートが危険だという話から、地域で子育てをする仕組みづくりをするために、まずは、地域の子どもの数を知ろうという意見が挙がり、町ごとの人口形態を把握しようということまで話が及びました。第二回目の策定委員会では、住民座談会で挙げた道路の整備や空き家問題など、ハード面に関する課題についても、自分たちでできる活動はないか考えていこうという前向きな意見が出ました。その他にも、地域カレンダーの作成など、具体的な活動の案も出てきています。計画策定に向けた話し合いはまだ途中ではありますが、浪の平地区では、策定委員会でも話し合った内容をもとに目標の設定や目標達成に向けた具体的な活動を考えるなど、住民主体の住みよいまちづくりがはじまっています。計画策定から策定後の支援まで長崎市、長崎市社協も協力して行います。誰もが安心して暮らせる安全なまちにしたい。小地域計画を策定してみませんか？



第二回策定委員会 平成28年2月17日(水)

横尾地区での養成講座の様子

長崎市では、平成21年度から毎年、高齢者ふれあいサロンを開催しております。この養成講座をサポーター養成講座として開講しております。活動されています。活動されています。

高齢者ふれあいサロン開設状況

①週1回開催型・・・43箇所
②月1～2回開催型・・・85箇所
※平成28年3月1日現在

福祉学習への支援

チャレンジ！車椅子体験
地域の一員として自分が何ができるかを考え、行動する力を養っています。

高齢者ふれあいサロン

季節の行事やレクリエーションを通して住民同士の交流を深めます。

平成二八年度社協会員募集について

社協のサポート一助になりませんか！

長崎市社協(以下、「社協」という。)は、子どもから高齢者まで、「誰もがふだんのくらしの中で、しあわせを感じられる笑顔あふれるまち」なごさきをみんなでつくることを目指して、様々な地域福祉活動を行っています。社協では社協が進める地域福祉活動の主旨に賛同し、社協の運営を財政的にご支援・ご協力いただける社協会員を募集しております。皆さまにご協力いただいた社協会費は、高齢者ふれあいサロンや子育てサロンなどの小地域活動やボランティア活動などに大切に使用させていただきます。また、社協会員になることは、社協が進める地域福祉活動に間接的に参加していただいている社協のサポート一助であるとも言えます。社協の活動をご理解いただき、

社協会員の種類と金額

種類	金額
賛助会員(個人)	1,000円(一口)
団体会員(法人・事業所など)	3,000円(一口)

※何口でもご加入いただけます。
※会員・会費は年度ごとに更新となります。(4月から1年間)

ひとりでも多くの市民の皆さまに社協会員へご加入いただきますようご協力をお願いいたします。